

震災の影響により機能低下をきたした プランニング一例



介護支援専門員
理学療法士

矢野隼人

はじめに



熊本地震



環境変化



精神的・機能的
低下



ケアプラン

- ①在宅復帰時の経過
- ②サービス介入による2ヶ月間の変化
 - ・ADLの変化(FIM)
 - ・家族介護負担の変化(Zarit)

FIM (Functional Independence Measure)

全18項目 完全自立～全介助の7段階で評価

セルフケア(6項目)	食事、整容、清拭、更衣(上下)、トイレ
排泄コントロール(2項目)	排尿コントロール、排泄コントロール
移乗(3項目)	ベッド・椅子・車椅子、トイレ、浴槽・シャワー
移動(2項目)	歩行・車椅子、階段
コミュニケーション(2項目)	理解・表出(言語・非言語)
社会認識(3項目)	社会的交流、問題解決、認知



点数	介助量
7	完全自立
6	修正自立
5	監視または準備
4	最小介助
3	中等度介助
2	最大介助
1	全介助

目的

○○○/126点

- ①対象者の自立度と介護量を把握する
- ②他職種との情報共有を正確かつスムーズに伝える

Zarit 介護負担尺度

身体的負担、心理的負担、経済的困難などを総括し、介護負担として測定することが可能な尺度。

22項目の質問から構成。

	思わない	たまに	時々	よく	いつも
1 患者さんは、必要以上に世話を求めてくると思いますか	0	1	2	3	4
2 介護のために自分の時間が十分にとれないと思いますか	0	1	2	3	4
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
22 全体を通してみると、介護をするということはどれくらい自分の負担になっていると思いますか	全く負担ではない	多少	世間並	かなり	非常に大きい
	0	1	2	3	4

① 5段階評価、0～4点まで負担感が大きいほど高得点

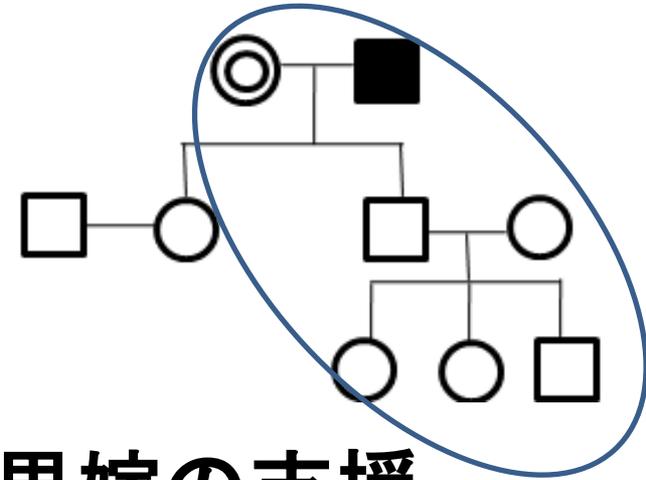
② 負担が最大→88点、負担が全くない→0点

症例

A氏 78歳 女性

パーキンソン病(H18)

要介護2 キーパーソン:長男嫁



息子家族と同居。家事全般は長男嫁の支援

本人は身の回りの掃除程度

利用していたサービス

通所リハビリ(週1回)

通所介護(週3回)

福祉用具(歩行器レンタル)

震災前ADL

基本動作:自立(支持物) 歩行:見守り(歩行器)

トイレ動作:自立 入浴動作:見守り

経緯



熊本地震

4/14

M6.5 震度7

4/16

M7.3 震度7

- ・自宅が全壊
- ・施設で避難生活
- ・借家が決まる
- ・退所前自宅訪問(6月13日)

車椅子中心
の生活

CM担当変更

(課題)

環境整備が整っていない→生活困難



動作能力を評価
手すり・段差等の調整

PTの
経験

- ・退所前自宅訪問(6月23日)

改修着工まで手すりレンタルで対応
→動作確認を行う

- ・長男家族と同居(7月1日)

経過

本人の意向：体力をつけたい
風呂は自宅で入りたい

生活全般の解決すべき課題（ニーズ）	目標				援助内容	
	長期目標	期間	短期目標	期間	サービス内容	※1 サービス種別
自宅環境の変化や体力低下により動作が	外に出て気分転換することで、役割や生	H28/7/1 ～ H29/6/30	宅内を転倒なく安全な動作が行える。	H28/7/1 ～ H28/12/31	筋力・耐久性強化 動作・歩行能力強化	○ 通所介護

（生活課題）

自宅環境変化
精神・身体機能低下

受診の必要性

自宅での入浴

（目標）

転倒ない移動

受診の継続
内服管理

安全な入浴

（サービス内容）

通所介護
訪問リハビリ
福祉用具

主治医の受診

訪問介護

経過

月	火	水	木	金	土	日
	 訪問介護		 訪問介護		訪問介護	



→

- ・筋力・耐久性強化
- ・歩行能力強化
- ・他者との関わり



→

- ・自宅内動作能力の獲得
- ・訪問介護との連携

訪問介護

→

- ・自宅での入浴介助

福祉用具

→

- ・住宅改修
- ・福祉用具貸与

結果

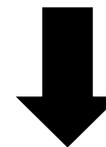
	H28年7月2日	H28年9月2日
FIM	70点/126点	92点/126点
Zarit	53点/88点	53点/88点

- FIM : 22点の改善(ほぼ全項目で改善)
- Zarit : 項目の点数に変化あり

結果 (FIM)

FIM	評価項目	7/2	9/2
セルフケア	食事	4	5
	整容	4	5
	清拭	2	4
	更衣・上半身	5	6
	更衣・下半身	4	5
	トイレ動作	3	5
排泄 コントロール	排尿管理	4	5
	排便管理	4	6
移乗	ベッド・椅子・車椅子	3	6
	トイレ	4	6
	浴槽・シャワー	2	4
移動	歩行	3	5
	車椅子	—	—
	階段	1	1
コミュニケーション	理解	5	6
	表出	6	6
社会的認知	社会的交流	6	6
	問題解決	5	6
	記憶	5	6
合計		70点	92点

ほぼ全ての項目で改善



リハビリによる身体機能向上

自宅環境の順応化

精神的安定による意欲向上

結果 (Zarit)

介護負担軽減項目

	思わない	たまに	時々	よく	いつも
1 患者さんは、必要以上に世話を求めてくるとお思いますか。	0	1	2 ← 3	4	
4 患者さんの行動に対し、困ってしまうと思うことがありますか	0	1	2 ← 3	4	
5 患者さんのそばにいと腹がたつことがありますか。	0	1	2 ← 3	4	
8 患者さんがあなたに頼っていると思おいますか。	0	1	2	3 ← 4	
13 患者さんが家にいるので、友達を自宅に呼びたくても呼べないと思おったことがありますか。	0	1	2 ← 3	4	

介護負担増加項目

3 介護のほかに、家事や仕事などもこなしていかなければならず「ストレスだ」と思おうことがありますか。	0	1	2	3 → 4	
9 患者さんのそばにいと、気が休まらないと思おいますか。	0	1	2	3 → 4	
15 今の暮らしを考えると、介護にかける金銭的な余裕はないと思おうことがありますか。	0	1	2 → 3	4	
16 介護にこれ以上の時間はさけないと思おうことがありますか。	0	1	2 → 3	4	
17 介護が始まって以来、自分の思い通りの生活ができなくなったと思おうことがありますか。	0	1	2 → 3	4	

点数軽減：動作能力向上→介助負担軽減

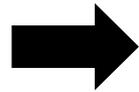
点数増加：介護以外（震災ストレス）の要因

まとめ

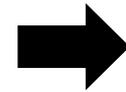
PTの経験がケアプランに活かされたこと

予測判断
能力

身体機能
動作能力
住環境



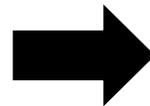
専門職と
情報交換が可能



目標が明確

効果的なサービス提供が可能

身体機能 ↑



介護負担 ↓

結びつくわけではない